

トイレ入口



トイレ内の照明を明るくすることで、わかりやすい入口への誘引としている。右から女性トイレ、男性トイレ、多機能トイレの順に配置。

女性トイレ 洗面コーナー



壁面の意匠と鏡裏の間接照明やブラケット照明により、やわらかく優美な雰囲気演出された洗面コーナー。車いす使用者に配慮して、1ヶ所は足元にニースペースを設けている。

男性トイレ 洗面コーナー



自動水栓とオートディスペンサー、クリーンドライを設置した洗面コーナー。荷物配慮として、フックを設置。女性トイレ同様、車いす使用者に配慮して、うち1ヶ所は足元にニースペースを設けている。

男性トイレ 小便器コーナー



意匠性と機能性を両立させるRESTROOM ITEM 01の小便器を採用。プライバシー配慮から、間仕切りを設置。床・壁に、防汚・防臭機能を持つハイドロセラ・フロアとハイドロセラ・ウォールを採用している。

女性トイレ パウダーコーナー



立ったまま化粧直しできるスタンディングタイプのパウダーコーナー。大きな荷物を置く荷物棚も設置し、ショッピングなどへの荷物配慮も充実している。

女性トイレ 大便器コーナー



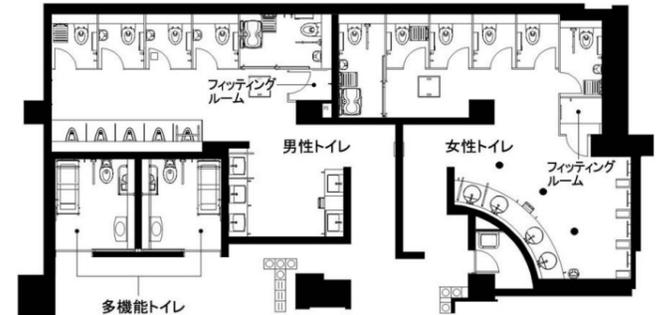
全ブースに清掃性に優れた壁掛式大便器を採用。防犯性に配慮し、女性トイレは、全ブースに誤作動を防ぐカバーをつけた非常ボタンを設置。作動させると、駅長室と各ブース前の頭上のランプで警報。

多機能トイレ

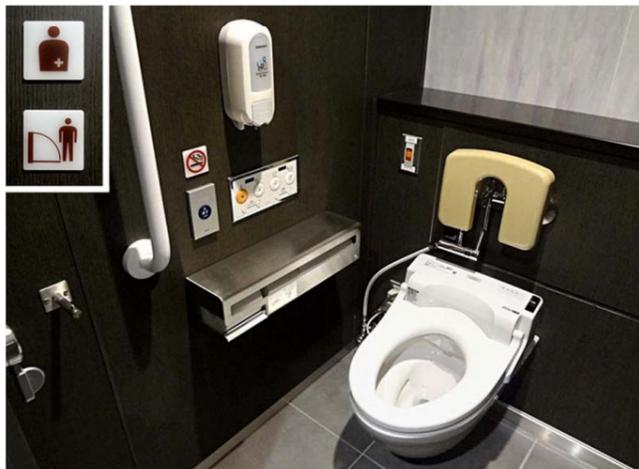


左右勝手違いの多機能トイレを2ヶ所設置。車いす使用者やオストメイトなどさまざまな身体状況の方の利用を想定して、パウチしびん洗浄水栓やパブリック用折りたたみシートなどの器具を完備。

トイレ図面



女性トイレ オストメイト配慮ブース



多機能トイレの利用集中を避ける工夫として、男女トイレ共にオストメイトに配慮したブースを、大便器ブースのうち1ヶ所に設置。ブース入口にピクトで設備が表示されている。

女性トイレ 車いす使用者配慮ブース



多機能トイレの利用集中を避ける工夫として、男女トイレ共に自立度が高い車いす使用者に配慮したブースを、大便器ブースのうち1ヶ所に設置。ブース入口に、ピクトでブース内の設備が表示されている。

建築概要

名称	大阪市営地下鉄 御堂筋・長堀鶴見緑地線 心齋橋駅
所在地	大阪市中央区心齋橋1丁目8番16号
施主	大阪市交通局 鉄道事業本部 建築部
設計	大阪市交通局 鉄道事業本部 建築部
施工	株式会社メッシュ
竣工年月	(改修)2016年12月

水まわりの特長

<改修の経緯>

心齋橋駅(しんさいばしえき)は、大阪市営地下鉄の主要駅のひとつ。御堂筋線と長堀鶴見緑地線が乗り入れ、改札内で四つ橋線の四つ橋駅と連絡する。地下街「クリスタ長堀」とも接続する構造で、心齋橋筋商店街を中心に百貨店、専門店、高級ブランド店が集まる繁華街に位置。周辺にはビジネス街もあることから、駅構内は、昼夜、老若男女を問わず多くの人で混雑している。大阪市交通局では、駅トイレの3K(汚い・臭い・暗い)イメージを払拭し、お客様満足度の向上を目指して、スピード感を持ったトイレリニューアルを推進するなか、今回御堂筋線と長堀鶴見緑地線の乗換ルート改札内のトイレ改修に着手し、空間デザインにもこだわったトイレ改修を実現した。

<トイレの特長>

今回改修されたトイレがある乗換通路には、長堀川に架かっていたレトロな心齋橋が再現されていることもあり、トイレのデザインコンセプトは、「レトロな喫茶店」。新しさの中にも懐かしさを醸し出す空間を演出。お子様連れ、オストメイト、小型車いす使用者対応など大便器ブース内の設備にバリエーションを持たせ、多機能トイレの利用集中化を避ける工夫を施した。また当駅の特性として、京セラドーム大阪に向かう乗換えが多いことから、オンからオフへの切替地として、男女トイレにフィッティングルームを設置している。